

平成27年度

教育委員会定例会
(12月)



平成27年12月11日(金)

鹿屋市教育委員会

会議日程

日 時 平成27年12月11日（金） 午後 3 時00分

場 所 教育長室

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第22号 平成27年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体の表彰について
て (P 2)
- 5 報告
 - (1) 平成28年度鹿屋市一般会計当初予算の要求状況について (P 5)
 - (2) 鹿屋市議会12月定例会の一般質問について (P 6)
 - (3) 鹿屋市第2期教育振興基本計画（案）について (P 9)
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

議案第22号

平成27年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体の表彰について
鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則(平成18年鹿屋市教育委員会規則第
2号)第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

平成27年12月11日提出

鹿屋市教育委員会
教育長 中野 健作

(別 紙)

(提案理由)

平成27年度社会教育功労者・優良社会教育関係団体表彰候補者を決定したいので、
本案を提出するものである。

【本議案は非公開】

報告(1)

平成28年度鹿屋市一般会計当初予算の要求状況について

(別 紙)

【本議案は非公開】

報告(2)

鹿屋市議会12月定例会の一般質問について

(別 紙)

報告(1)

鹿屋市議会12月定例会の一般質問について（教育委員会関係）

番	件名	質問の要旨	答弁の要旨	議員名
1	学校再編について	○ 学校再編は、より良い教育環境づくりであり、子どもも主体に考え早急に進めるべきではないか。	○ 今後については、極小規模校もある中で、子どもたちにより良い教育環境を提供することを第一に考え、一校一校の実情を見極めるとともに、地域の様々な事情を総合的に考慮し、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、より良い結論を導き出していきたい。	【個人】 本白水議員
2	文化事業の推進と魅力の発信について	○ 国文祭で上演した市民ミュージカル「花いくさ」は、本市の新たな文化資源として発展が期待できるが、今後の展開を示されたい。	○ 来年度、10周年を迎える「ヒメとヒコ」、全国に届ける作品として生まれた「花いくさ」、この二つの鹿屋生まれのミュージカルが、今後も本市において展開されるよう松永氏との連携を図りながら、文化振興と地域づくりの視点をもち、大切に鹿屋の新たな文化の創造に努めてまいりたい。	【個人】 米永議員
3	林業活性化について	○ 学校の机・椅子に、地元産材を利用した木製製品の導入を進めてもらいたい。	○ 木製とスチール製の比較検討を行った結果、軽量で学校の要望に沿うスチール製の机・椅子を平成26年度から年次的に導入している。地元産材利用は、地場産業の活性化のためには大切なことであり、校舎等の工事においては、関係課と連携を図り、地元産材の更なる利用促進に努めたい。	【個人】 永山議員
4	障害のある児童・生徒の教育について	○ 市内の小中学校におけるデイジー教科書や電子黒板の活用現状を示されたい。 ○ 軽度の発達障害のある児童生徒に対する学習支援の配慮はなされているか。	○ 小中学校においてデイジー教科書は導入されていない。電子黒板は、全学校に規模に応じて1台から4台整備している。 ○ 通常学級の具体的な支援は、全体的な指導の後に個別に丁寧に説明を加えたり、具	【個人】 児玉議員

	<p>体物を用いて理解を深めたり、読み書きの補助を行っている。さらに必要に応じて、特別支援教育支援員を配置し、より一層一人一人を大切にしたい。</p>	<p>体物を用いて理解を深めたり、読み書きの補助を行っている。さらに必要に応じて、特別支援教育支援員を配置し、より一層一人一人を大切にしたい。</p>	<p>【個人】 時吉議員</p>
<p>5 子育て支援について</p>	<p>○ 学校給食の無料化をどう考えるか。無料化に伴う経費、児童生徒数、保護者世帯数を示されたい。</p> <p>○ 鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略における鹿屋版寺子屋事業の概要を示されたい。</p>	<p>○ 学校給食の保護者負担額は、年間約4億4千万円である。無料化については、特に経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者、1,952人、20.6%に対して年間約8千200万円の就学援助費を支給している。</p> <p>○ 鹿屋版寺子屋は、かのや学校応援団事業の一環として開設するものであり、公民館等を活用し、地域の方々と子どもたちが関わる仕組みづくりを確立することにより学力向上と郷土愛を育むことを目的としている。</p>	<p>【個人】 市来議員</p>
<p>6 国際交流事業について</p>	<p>○ 英語教育だけでなく、他の外国語に触れる取組を行っているか。</p> <p>○ 国際社会で活躍できる人材育成を目的として関係機関、関係課との連携を図った施策を検討してもらいたい。</p>	<p>○ A L Tや国際交流員による外国語活動、カピックセンターによる異文化理解学習、韓国中学校とのサッカー交流、アフリカ音楽のジャンベ演奏等の文化交流等に取り組んでいる。</p> <p>○ 新たな取組としてカピックセンターと連携した英語のみによる生活を体験するイングリッシュキャンプ、誰でも英語によるコミュニケーションを楽しめるイングリッシュレベルの検定など、今後とも関係機関との連携を図りながら国際理解教育の一層の推進を図りたい。</p>	<p>【個人】 市来議員</p>

報告(3)

鹿屋市第2期教育振興基本計画(案)について

(別 紙)

【本議案は非公開】